

LIXIL

リプラス 汎用カバーモール

リプラス 汎用カットモール



取付説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

- 外壁の切込み作業中は、必ず保護めがねおよび防塵マスクを着用してください。粉塵を吸い込むと健康を害するおそれがあります。
- モール脱落の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・本製品は木造用ですので、木造以外の躯体には使用しないでください。
 - ・モール取付けは指定のねじで取付けしてください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- アルミ箔付防水テープ張付けの際には、必ず手袋の着用をしてください。アルミ箔付防水テープには鋭利な部分があるため、ケガをするおそれがあります。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定箇所へは、必ずシーリング材(有償品または別途現地で手配)を充てんしてください。
 - ・排水経路を確保するため、下部端部キャップにはプッシュボタンを取付けないでください。
 - ・排水経路を確保するため、下部端部キャップの下側、および、下モールの下側は、シーリングをしないでください。
 - ・シーリング材は、1成分形変成シリコーンを使用してください。
 - ・シーリング材専用のプライマーを使用してください。
 - ・シーリング処理は防水テープとつながるようにしてください。
 - ・外壁切込みは、防水紙や躯体を切らないように行ってください。
 - ・防水テープは必ずアルミ箔付防水テープ(有償品)を使用してください。
 - ・アルミ箔付防水テープを指定箇所に張付け、躯体内へ水が流れないようにしてください。
 - ・躯体へ下穴をあけた場合は、必ず下穴へシーリング材を充てんしてから、取付けねじを取付けてください。

■取付け上のお願い

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- モールの連結部に無理な力をかけないでください。モールが変形するおそれがあります。
- 取付説明書および取付け部品セット・取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
- サッシ本体の取付け、ガラスの入れ方などは、各製品の取付説明書をご覧ください。
- 樹脂部材のねじ締めの際は、締め過ぎないようにしてください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- モール取付けの際には、モール形材が変形しないようにねじ締めしてください。

■部材・部品一覧

カバーモール		入隅用	カットモール		水切り…1本	カバーモール・カットモール共通
縦モール…2本 ※	横モール…2本	縦モール…1本	縦モール…2本	横モール…2本		ねじカバー※ 縦用2本、横用2本

※入隅用の場合は縦モール、ねじカバー縦用の数が1本になります。

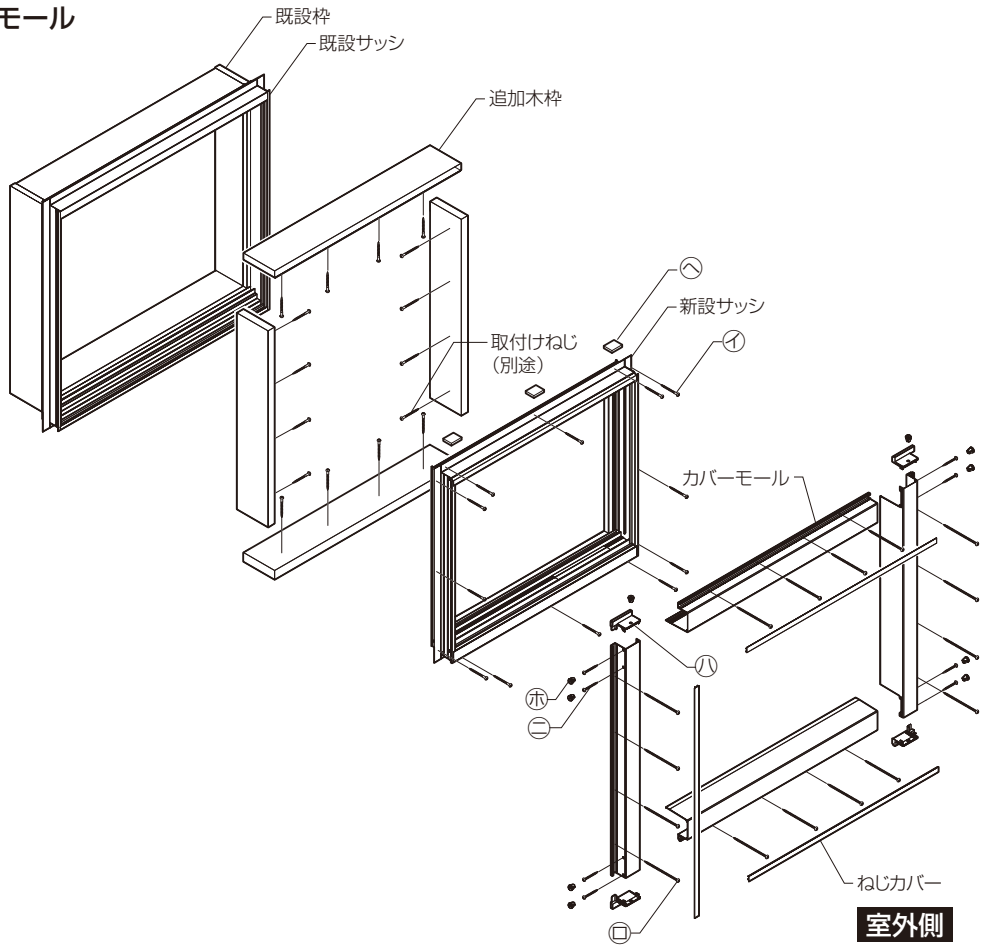
■部品セット内容一覧

サッシ取付けねじ		モール取付けねじ		モール組立て用部品セット			
①丸木ねじφ3.5×25 12~32本	②ナベタッピンねじ (1種)φ5×90 16~44本	③端部キャップ ※ L×2個 R×2個	④モール組立てねじ ナベタッピンねじ (2種)φ4×35(G5) 8本	⑤プッシュボタン φ8用 10個	⑥チリ出し ブロック 3個	⑦端部キャップ (入隅用) L×1個 R×1個	

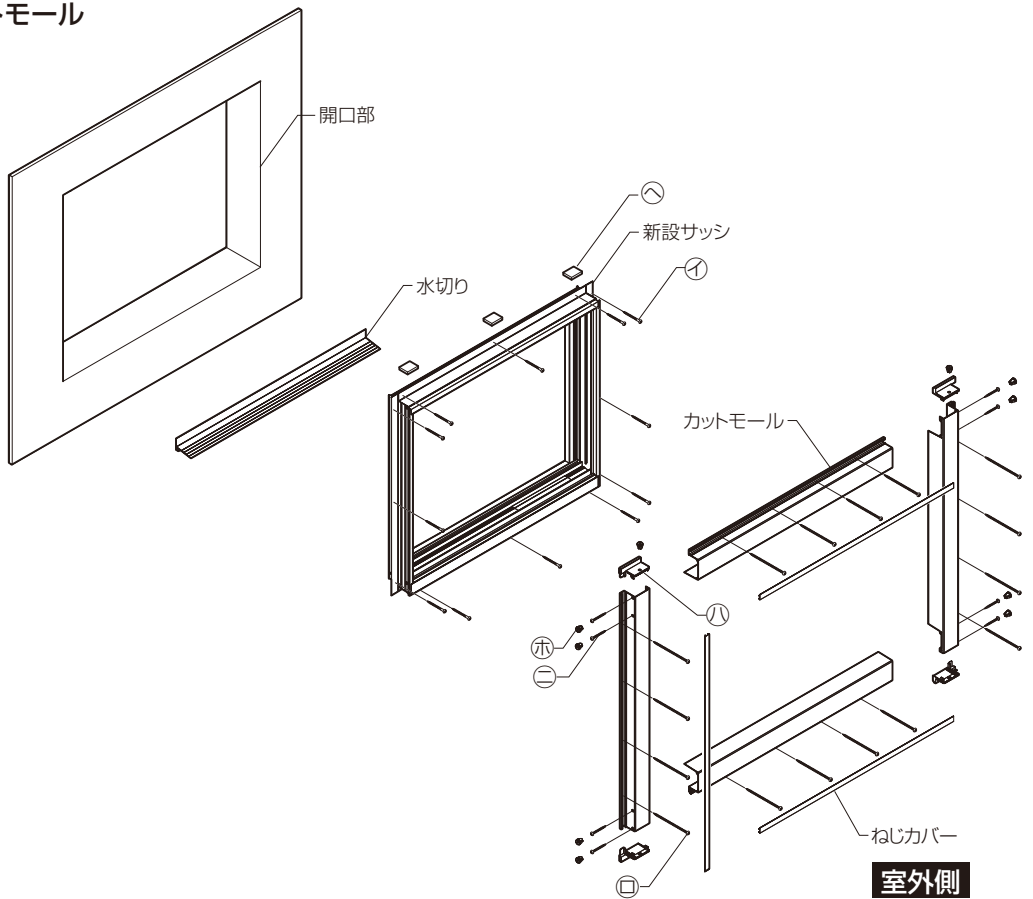
※入隅用の場合はL×1個、R×1個になります。

■構成図

●汎用カバーモール



●汎用カットモール

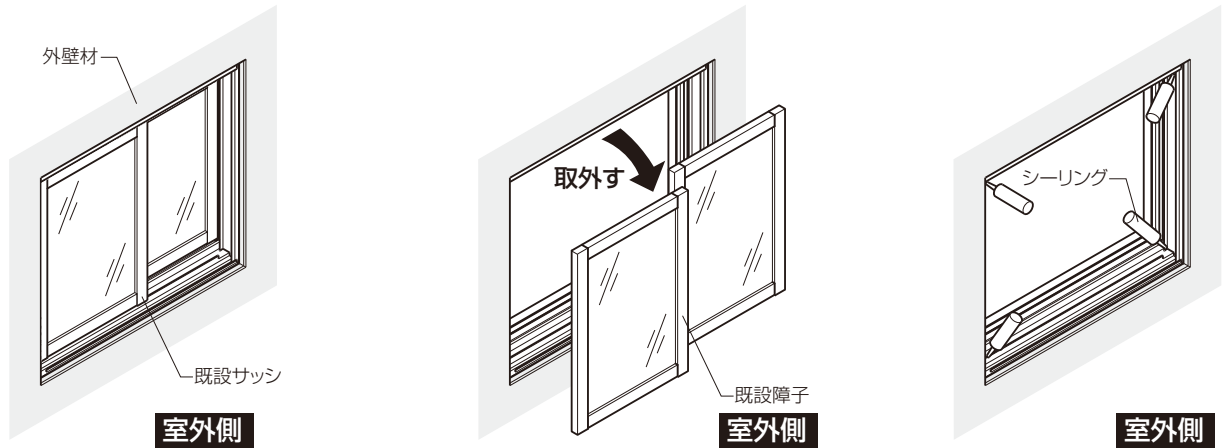


■汎用カバーモール 取付け順序

■新設サッシ取付け前準備

①既設サッシの準備

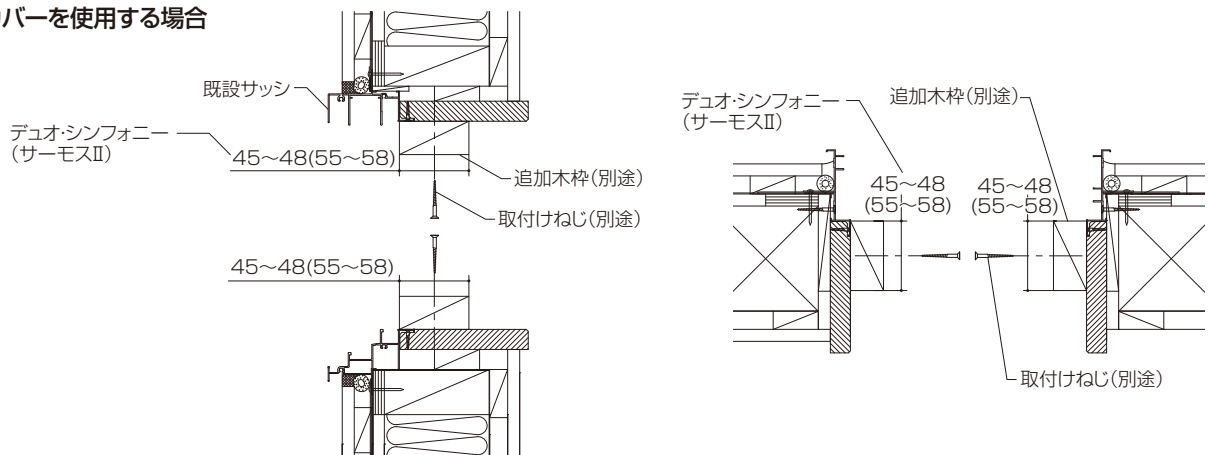
- ①既設サッシの障子を外します。
- ②既設サッシに付いている部品(上下枠ストッパー、結露受けなど)を取外します。
- ③サッシのコーキングシーラーが劣化しているおそれがあるため、サッシのコーナー部にシーリング処理してください。



②開口の準備

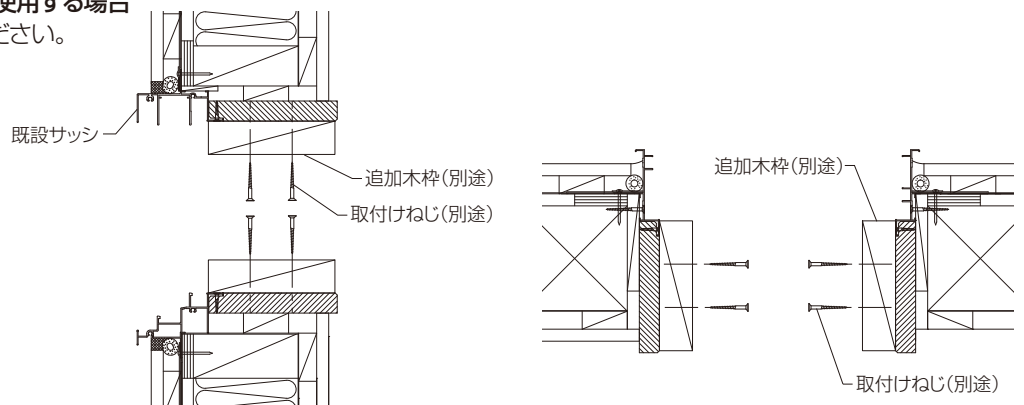
- ①新設サッシを取付けるための追加木枠を取付けてください。
 ※取付けねじは両端100mmピッチ450mm以下で躯体にかかる様に取付けてください。
 ※追加木枠、および、取付けに付随するねじは、お客さま手配になります。
 ※追加木枠はリフレムIIカタログ参照の上、指定寸法のものをご使用ください。
- ②取付け後、追加木枠にガタツキやぐらつきがないことを確認してください。

■アングルカバーを使用する場合



■カバーモール用ケーシングを使用する場合

既設サッシ窓枠に合わせてください。



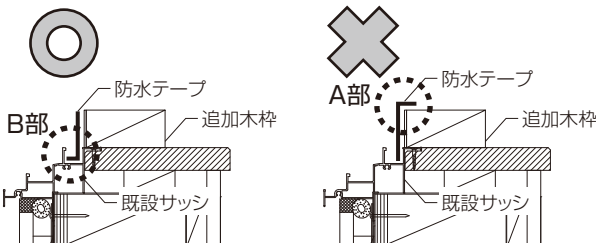
- ③開口部周りの防水処理をしてください。
 ※追加木枠と既設サッシのつなぎ目にアルミ箔付防水テープ(有償品)を張付けしてください。
 ※アルミ箔付防水テープは、下方から上方の順番①～④で張付けし、重ね合わせ部、部材との取合い部などは浮き・すき間無く張付けてください。

▲注意

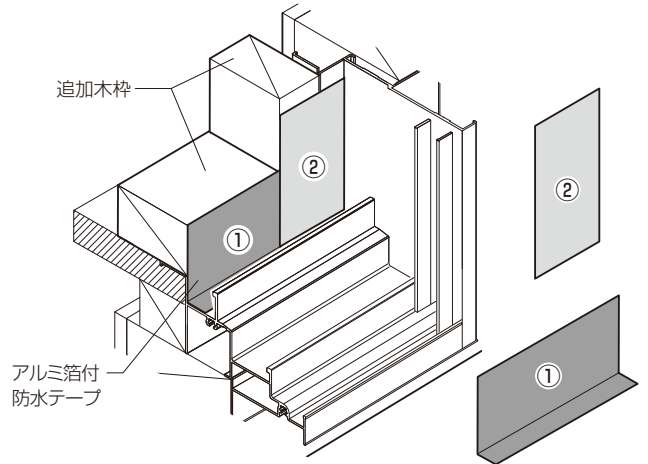
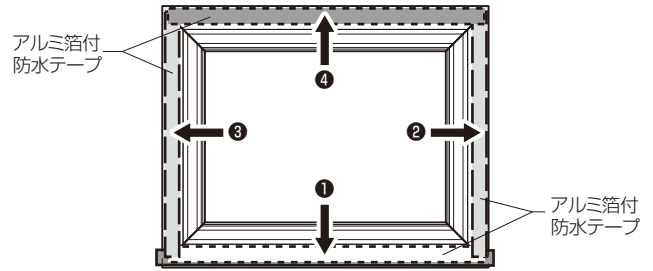
●アルミ箔付防水テープは右図を参考に、躯体内へ水が流れないように防水処理してください。漏水の原因になるおそれがあります。

お願い

※下側の追加木枠の上には防水テープがかからないように張付けてください(A部)。新設サッシの転びの原因になります。



※既設サッシの形状に合わせ、事前に防水テープを折り曲げるか、または、幅を張付け面に合わせてカットして張付けてください(B部)。



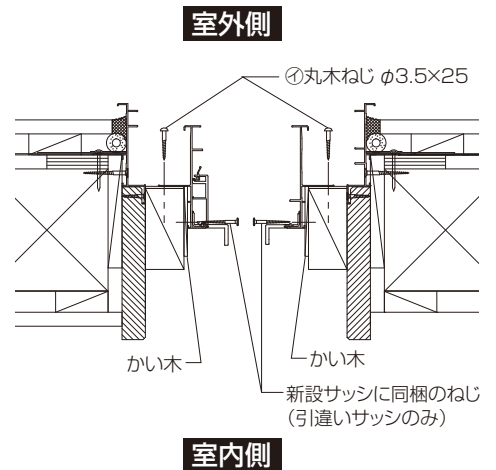
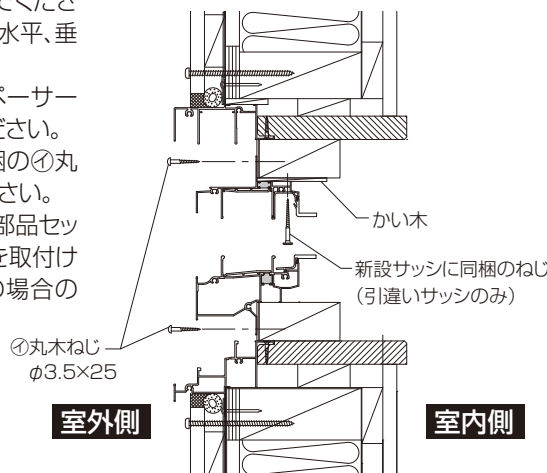
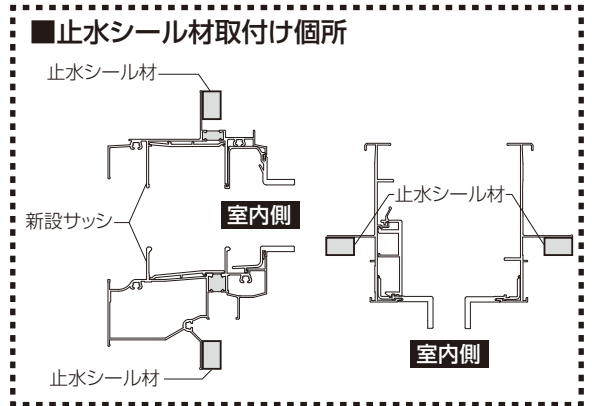
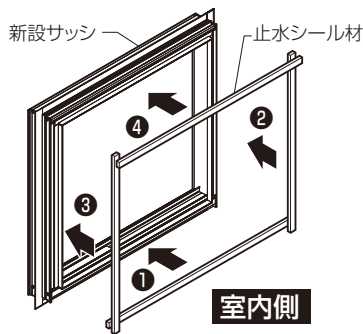
▲注意

●アルミ箔付防水テープ張付けの際には、必ず手袋の着用をしてください。アルミ箔付防水テープには鋭利な部分があるため、ケガをするおそれがあります。

2 新設サッシの取付け

1 新設サッシの取付け

- ①組立てした新設サッシの釘打ちフィン裏面に止水シール材(別売品)を張付けてください。
 ※止水シール材は、下方から上方の順番①～④で貼付けし、重ね合わせ部、部材との取合い部などは浮き・すき間無く張付けてください。
 ※リケイ紙は、汚れ不着を防止するため、サッシを取付けるまではがさないでください。(重ね合わせ部はリケイ紙をはがして圧着してください)
- ②止水シール材のリケイ紙をはがし、新設サッシの開口部にはめ込んでください。左右のチリ寸法を合わせ、水平、垂直を確認してください。
 ※かい木、または、施工調整スペーサー(別売品)を用いて調整してください。
- ③室外側はカバーモールと同梱の④丸木ねじでサッシを取付けてください。
- ④室内側は新設サッシに同梱の部品セット内の皿木ねじで新設サッシを取付けてください。(引違いサッシの場合のみ)

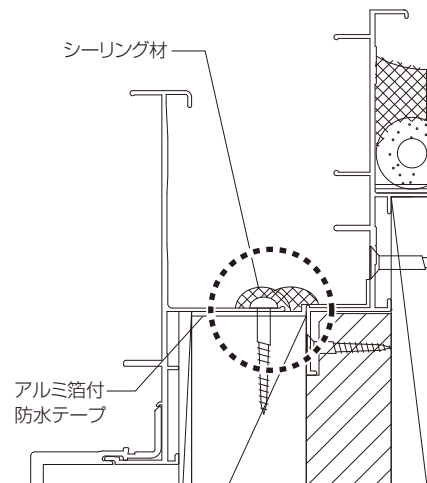
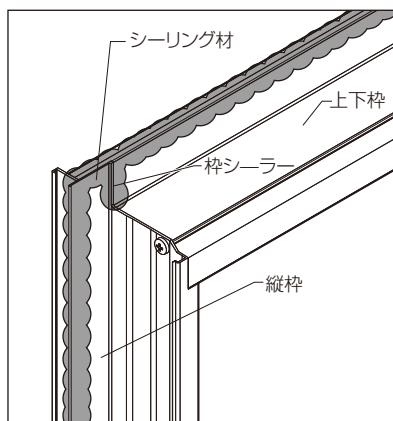


②新設サッシ周りのシーリング処理

●新設サッシ釘打ちフィン周りと防水テープのつなぎ目をシーリングしてください。サッシ取付けのねじ頭がシール材から出ないように、確実にシーリング処理してください。

▲注意

●シーリング処理は、サッシ取付けねじ頭がかくれるまで行ってください。上下枠と縦枠の取り合い部は、枠シーラーの根元まで行ってください。躯体内漏水のおそれがあります。

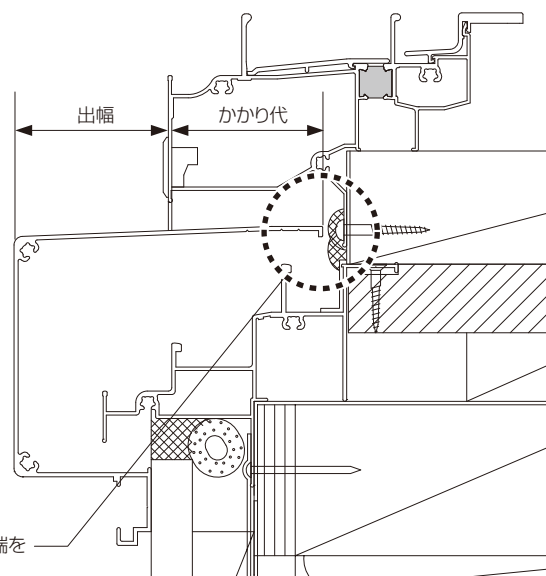


③カバーモールの取付け

①カバーモールの組立て

①カバーモールを取付け位置にあてがい、カバーモール先端が当たらないことを確認してください。先端が当たる場合は、カバーモールを切断して長さ調整してください。(切断しやすいようにV溝がついています)

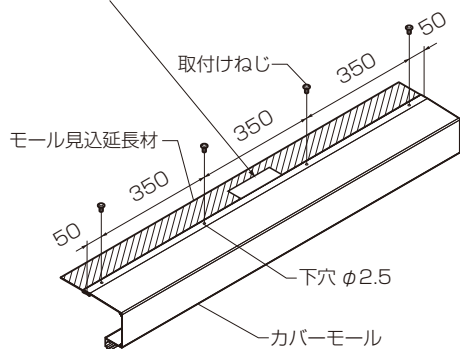
※新設サッシからのカバーモールの出幅が75mm以上の場合は、モール見込延長材(有償品)を使用して、新設サッシへのかかり代を伸ばしてください。



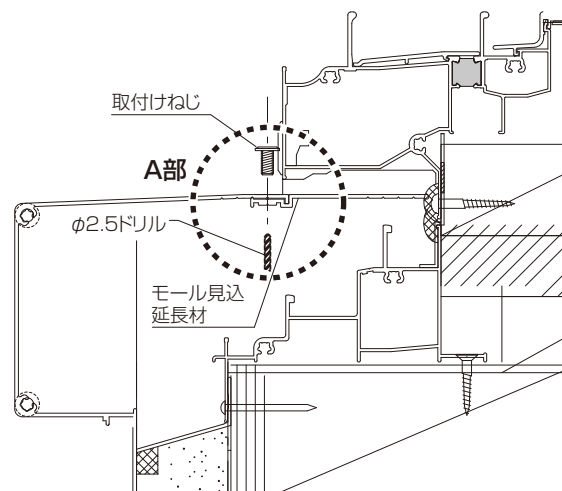
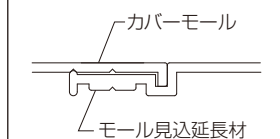
※必要に応じてカバーモール先端を切断して調整してください。

②モール見込延長材を使用する場合は、図のようにかん合(A部)し、下側から両端50mmで $\phi 2.5$ の下穴をあけ、同梱されているねじで両端部を連結します。次に中間部に350mm以下で $\phi 2.5$ の下穴をあけ、同梱されているねじで連結してください。

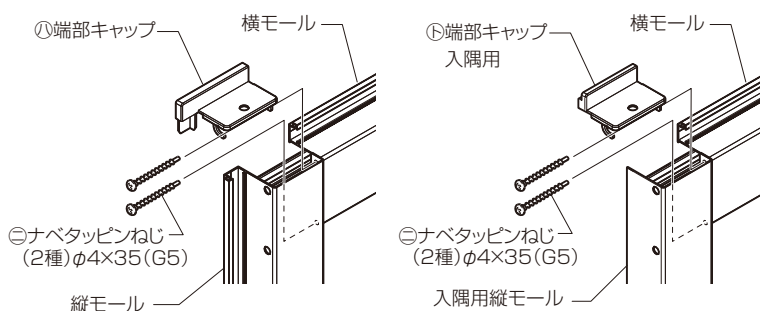
※「のらないでください」ラベルが張られているモール見込延長材が下モール用になります。



A部 詳細図



③縦モール端部に㊦端部キャップを取付けてください。
端部キャップと縦モールのガイド穴、横モールのタッ
ピングホルの位置を合わせ、㊧モール組立てねじで
組立てます。

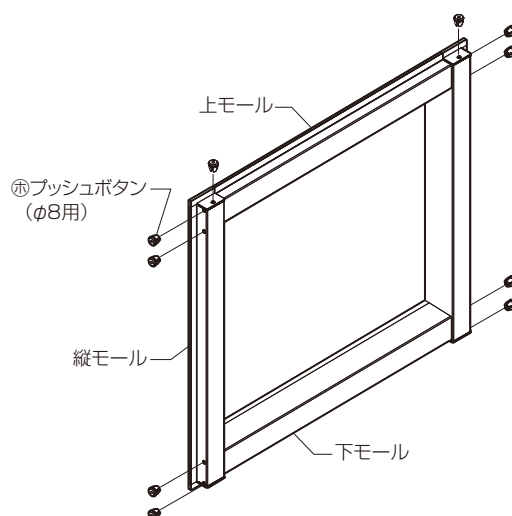


④縦モールの側面の丸穴(8箇所)および、上側の端部
キャップ上面の丸穴(2箇所)に㊨プッシュボタンを取
付けてください。

▲注意

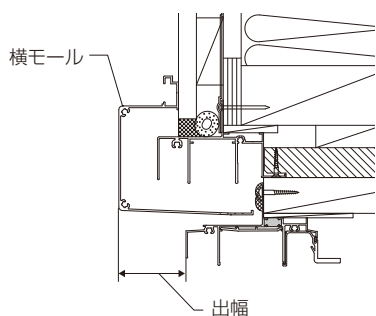
●排水経路を確保するため、下部の端部キャッ
プには、プッシュボタンを取付けしないでくだ
さい。取付けた場合、排水できなくなるおそれ
があります。

※モール見込延長材が取付けられている場合は、
「のらないでください」ラベルが張られている側が
下モールになります。

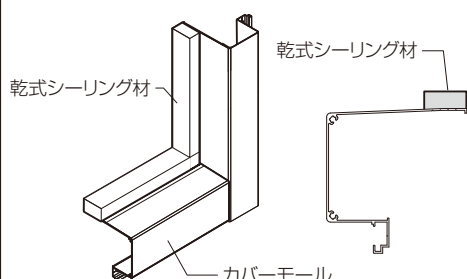


■乾式シーリング材(有償品)を使用する場合

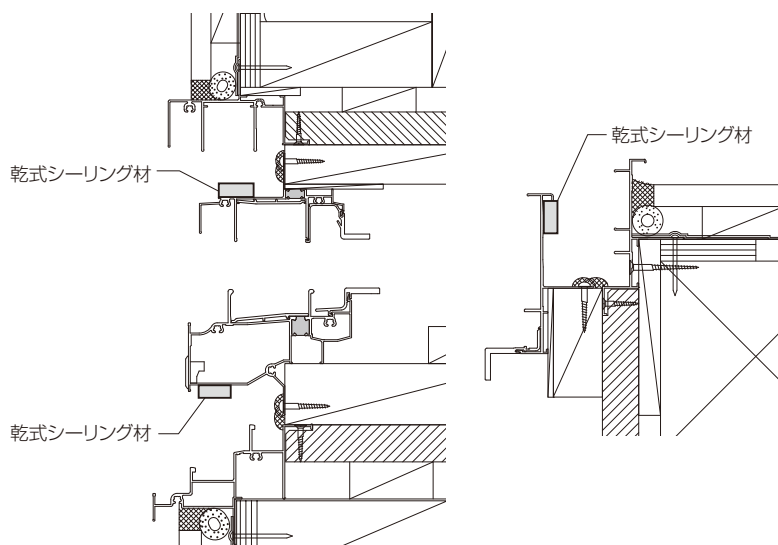
新設サッシからのカバーモールの出幅が65mm以下の場合、カバーモールに乾式シーリング材を張付けてください。(下図参照)
新設サッシからのカバーモールの出幅が65mm超の場合、新設サッシに乾式シーリング材を張付けてください。(下図参照)



■乾式シーリング材の張付け位置 (65mm以下の場合)

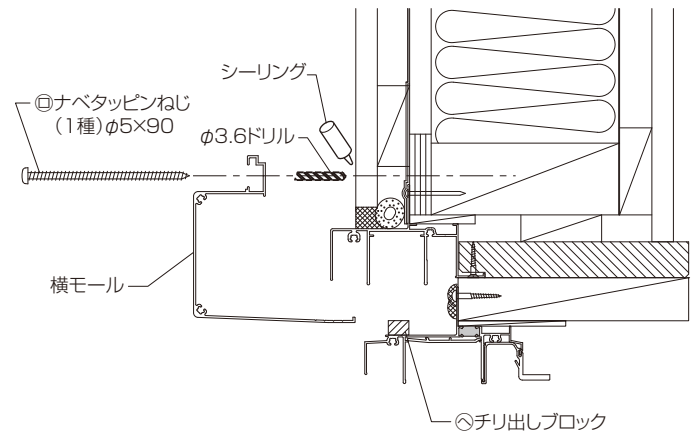


■乾式シーリング材の張付け位置(65mm超の場合)



②カバーモールの取付け

- ①新設サッシ上枠の両端と中央に㊦チリ出しブロックを設置してください。乾式シーリング材を使用する場合は、取付け不要です。
- ②新設サッシとカバーモールの上下左右のチリ寸法を確認し、カバーモールの取付け穴位置に合わせて、壁面にφ3.6の下穴をあけ、シーリング材を注入してください。㊧モール取付けねじで、カバーモールを取付けてください。

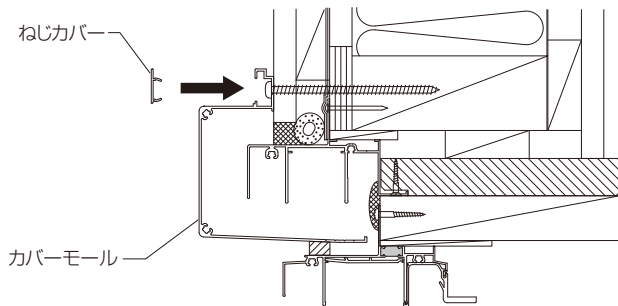


▲注意

- 必ず下穴へシーリング材を充てんしてから、ねじを取付けてください。漏水の原因になるおそれがあります。

③ねじカバーの取付け

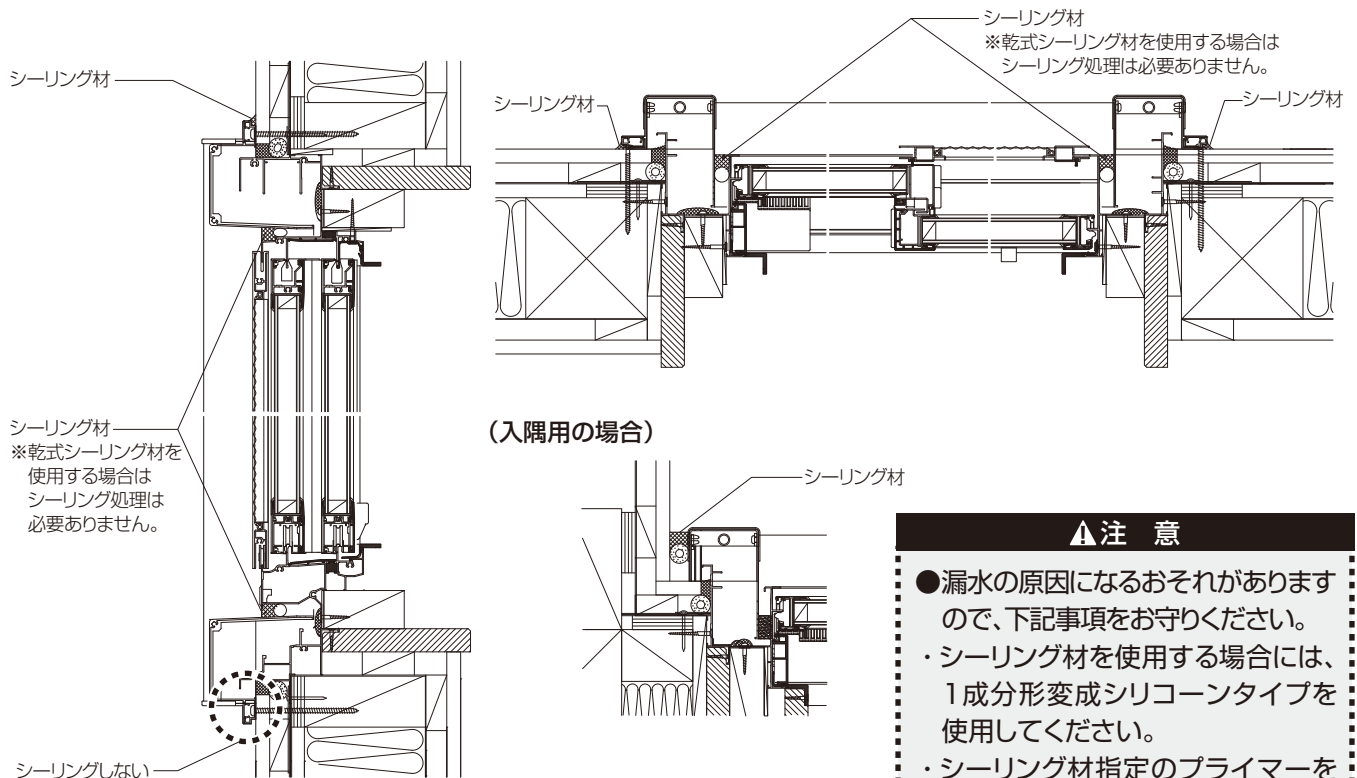
- カバーモールに、ねじカバーをはめ込んでください。



④シーリング処理

- 図の指定の箇所へシーリング処理をしてください。縦モールの下側および、下モールの下側はシーリング処理しないようにしてください。モール内に入った水が溜まる場合があります。

※縦モールと横モールとの取合い部にすき間がある場合は、シーリング処理してください。



▲注意

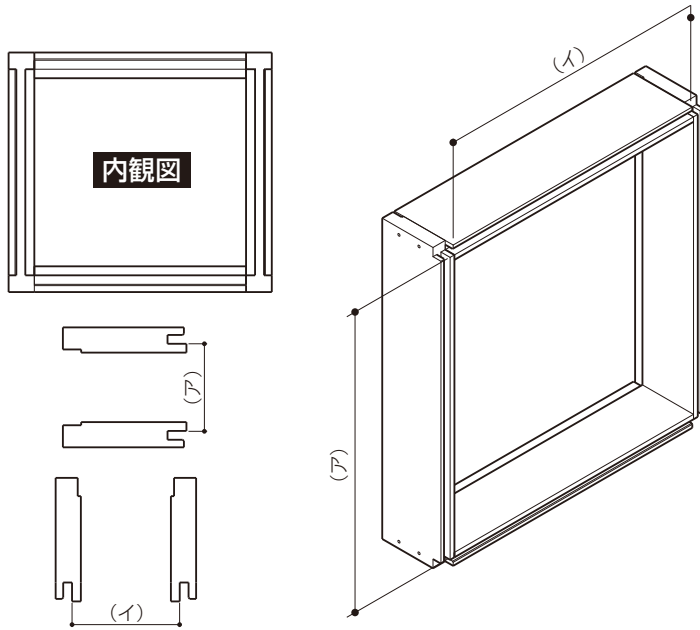
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・シーリング材を使用する場合には、1成分形変成シリコンタイプを使用してください。
- ・シーリング材指定のプライマーを使用してください。

※モール下側はシーリング処理をしないでください。

5 室内造作材の取付け(別売品)

1 DS窓枠の採寸

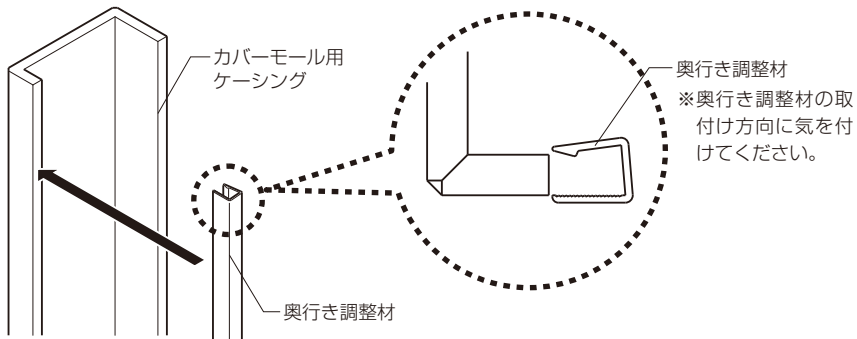
①DS窓枠の溝間の寸法(ア)、(イ)(下図参照)を採寸してください。



2 ケーシングの切断

①奥行き調整材をカバーモール用ケーシングに取付けます。

※足の短い方に奥行き調整材を取付けてください。



②切断します。

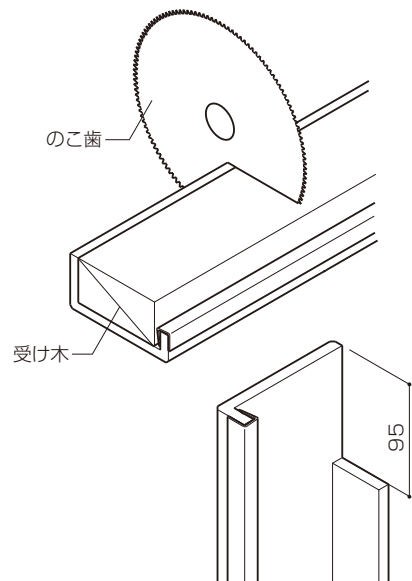
※切断する際は、受け木を入れてから切断してください。

〈縦枠・横枠切断寸法算出方法〉

	四方枠
縦枠切断寸法	(ア)+210
横枠切断寸法	(イ)

③縦枠の足の部分に右図の寸法にて切欠きをしてください。

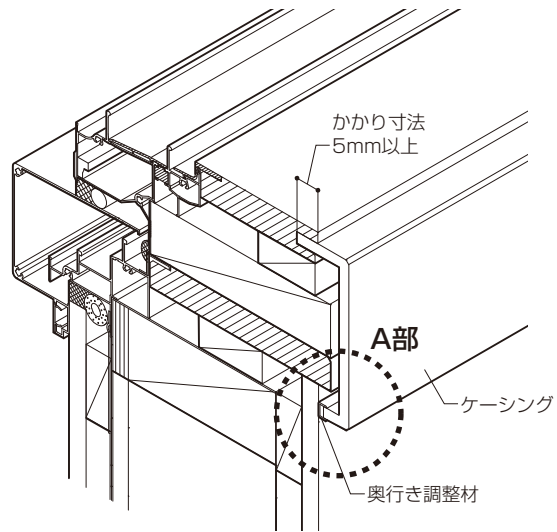
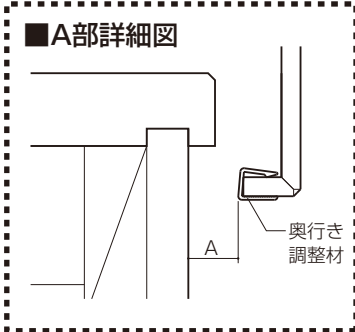
※四方枠の場合は上下に上記の切欠きを行ってください。



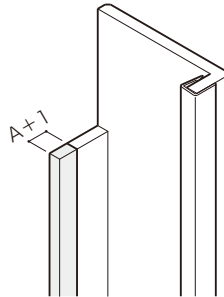
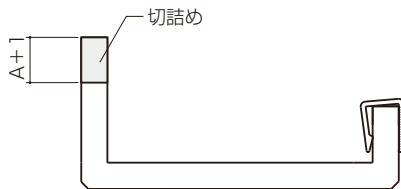
③ケーシングの取付け

① 枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。

※ 壁面とすき間が生じる場合は、すき間の寸法分足を切詰めます。

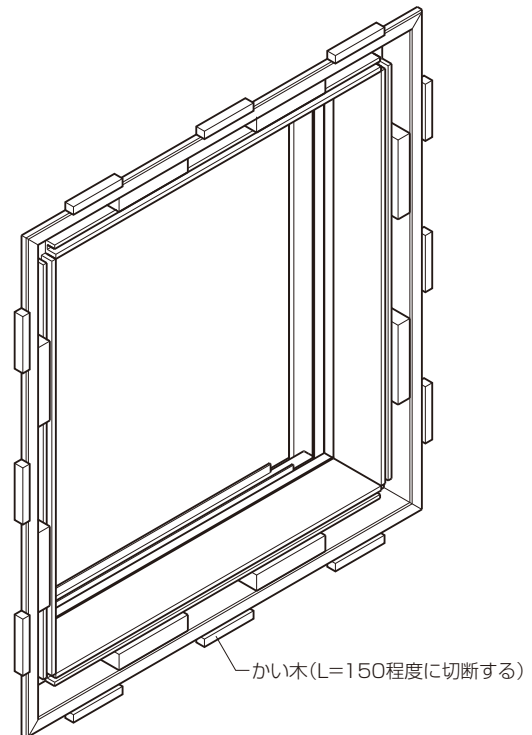


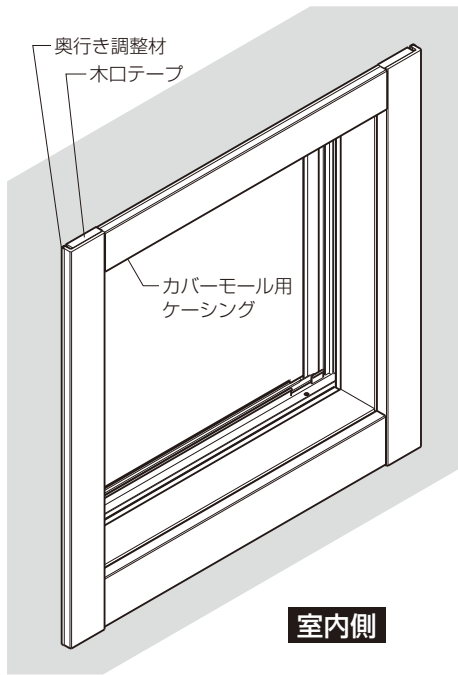
※ 縦・横ケーシングの足が一律にケーシングの溝に5mm以上かかるようにしてください。



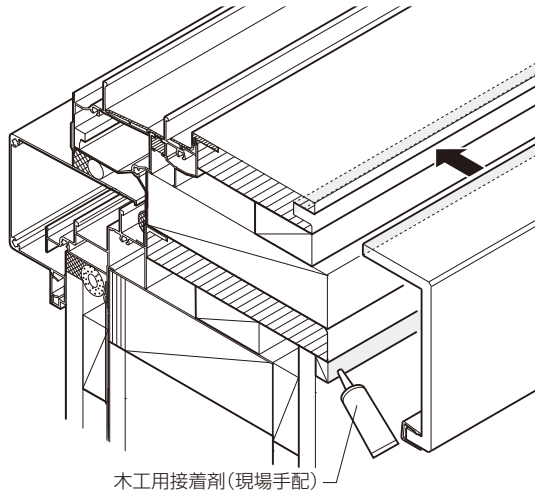
② ケーシングの取付け後のガタツキをなくすため、旧窓枠の室内側の四周外側に、同梱されているかい木を右記の図の要領にしたがってカクシ釘にて壁に固定してください。

※ かい木を取付ける際、ケーシングが取付けられるかを予め確認してください。ケーシングが取付けられなくなる場合は、かい木を薄く切断して取付けてください。



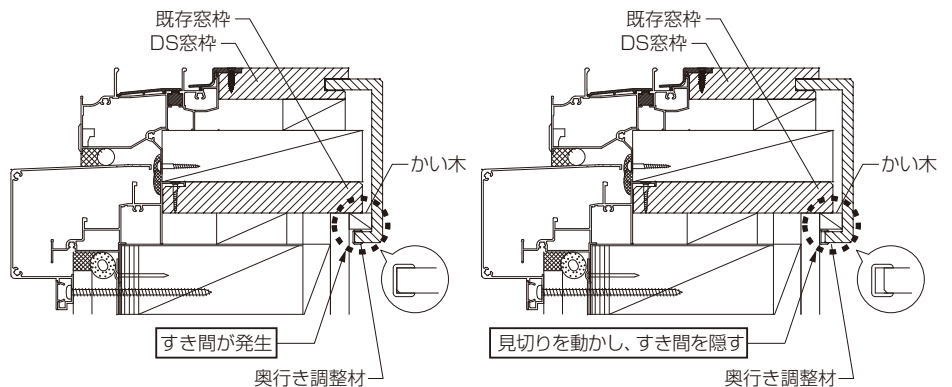


③右下図の阿米掛け、ケーシングの足部にまんべんなく木工用接着剤(現場手配)を塗布した後、すき間、ズレの調整を行い、ケーシングを固定してください。
 ※仮止めをする場合は、専用カクシ釘をご使用ください。



4調整方法

①壁の不陸などにより、壁との間にすき間ができた場合は、奥行き調整材にて下図に示すように調整してください。



■専用カクシ釘の使用方法

●各部名称

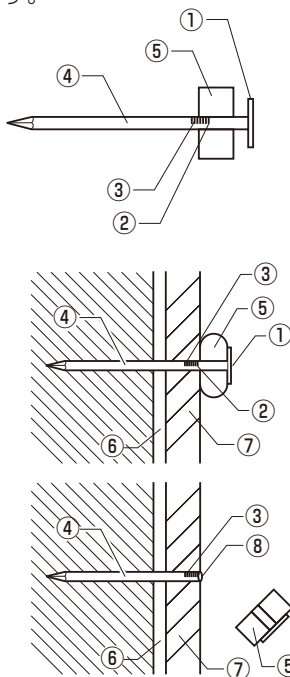
- ①釘頭 ②切断筋 ③抜止め筋
 ④残留釘 ⑤弾力材 ⑥接着材
 ⑦部材 ⑧パッチャルペンシル材

●仮止めする場合

釘頭①を打込むと切断筋②は部材⑦に入り込みこれで仮止め完了です。

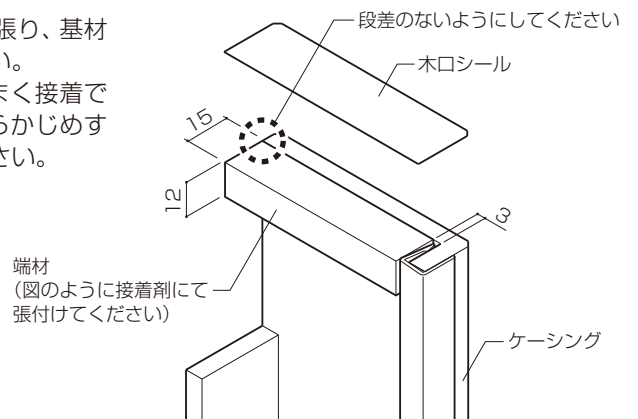
●仮止めする場合

接着完了後、弾力材⑤を横からたたいて折付けます。
 抜止め筋③が働き「本止め」となります。

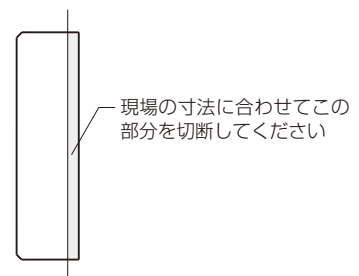


5木口テープの張付け

①縦枠端部に木口テープを張り、基材の露出部を隠してください。
 この時、木口テープがうまく接着できるように、端材などであらかじめすき間を埋めておいてください。



※木口シールは現場の寸法に合わせて切断してご使用ください。(奥行き調整により、若干切断寸法が変わってきますので、現場に合わせて切断してください。)

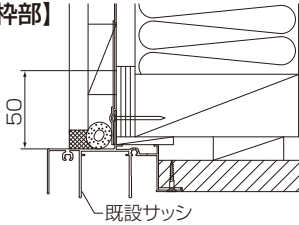


■汎用カットモール取付け順序

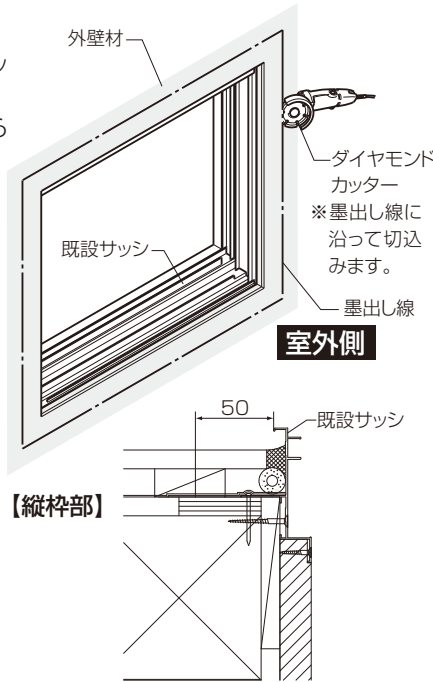
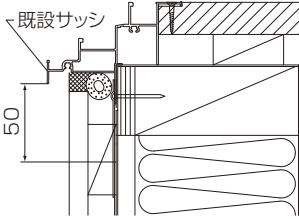
①既設サッシの取外し

- ①墨出し線に沿って、ダイヤモンドカッターで外壁材を切込みます。
※カット巾は既設サッシ外面から50mmの範囲としてください。

【上枠部】



【下枠部】

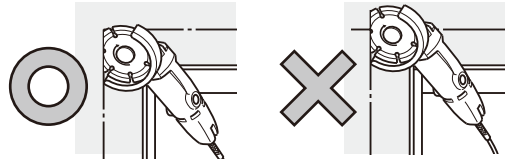


▲注意

- 外壁切込み作業中は、必ず保護めがねおよび防塵マスクを着用してください。粉塵を吸い込むと健康を害するおそれがあります。

お願い

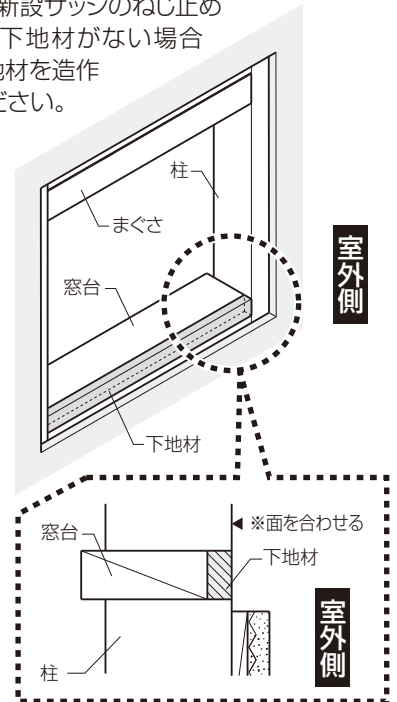
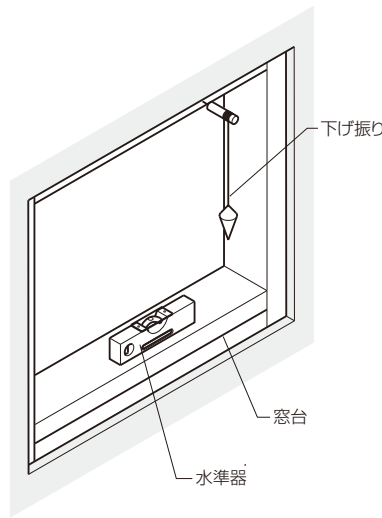
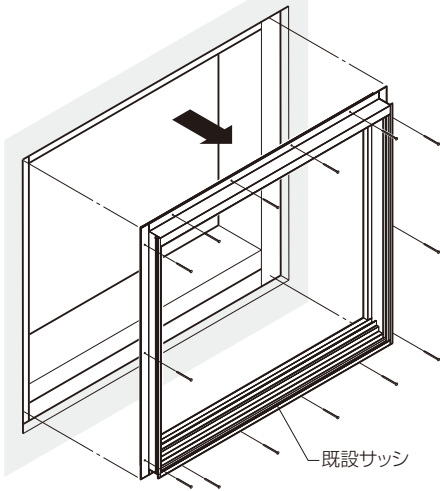
- ※コーナー部にダイヤモンドカッターを入れる場合は、必ずコーナー部手前で切込みを止め、墨出し線をこえないようにしてください。



- ②釘・ねじなどを取外し、既設サッシ全体を躯体から取外します。
※サイディングの場合、既設サッシのフィン周りにカッターを入れ防水テープに切れ目を入れてから取外してください。

- ③躯体の状態(腐り)・水平・垂直を確認してください。必要に応じて補強などを行ってください。

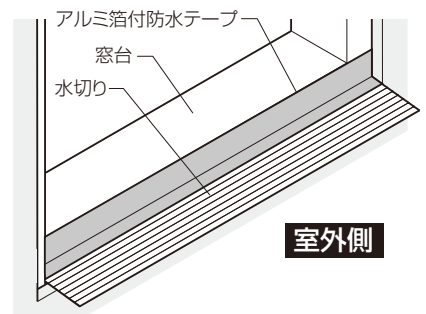
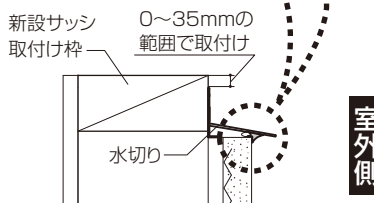
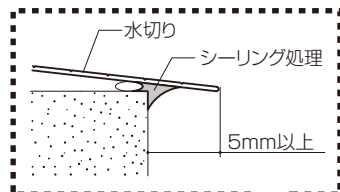
- ※柱とまぐさ・窓台の面がズれている場合は、面を合わせてください。
- ※水切り・新設サッシのねじ止め位置に下地材がない場合は、下地材を造作してください。



②水切りの取付け

- ※新設サッシ取付け前に、開口下枠に水切りを仮固定します。

- ①水切りは、外壁面から5mm以上はみ出すようにしてください。カットモールをあてがい、水切り先端が当たる場合は、水切りを切断して長さ調整してください。(切断しやすいように溝がついています)
- ②躯体内漏水防止のため、水切り上部～躯体間の防水処理(アルミ箔付防水テープ張付け)をしてください。
- ③モール下側からの水侵入を防止するため、水切り下側と壁切断面の間に、シーリング処理してください。



③新設サッシの取付け

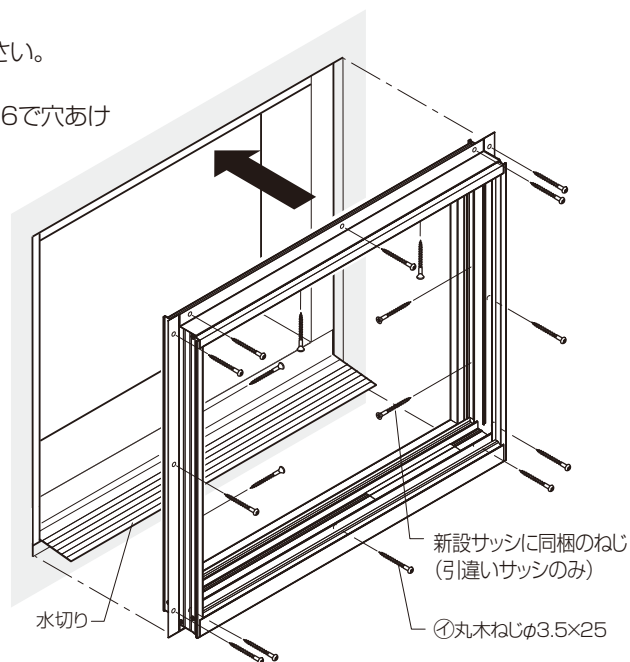
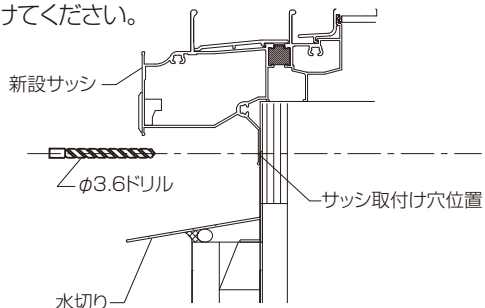
①新設サッシの取付けは、モールセット同梱の①丸木ねじで取付けてください。
(新設サッシに同梱のスクリュー釘は使いません)

※下枠取付け穴に水切りが重なる場合、サッシ躯体穴位置に合わせてφ3.6で穴あけ加工してください。

※下穴はアルミ型材までとし、躯体木部までは開けないでください。新設サッシ取付けねじが効かなくなります。

<引違いサッシの場合>

②室内側は、新設サッシに同梱の部品セット内の皿木ねじで新設サッシを取付けてください。



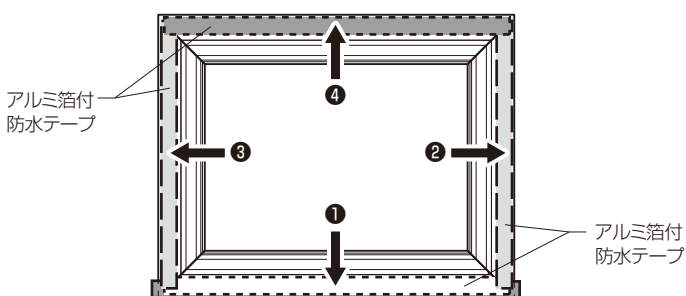
③新設サッシ取付け後、開口部周りの防水処理をしてください。

※通常のサッシ取付けと同様、サッシフィンにアルミ箔付防水テープ(有償品)を張付けしてください。

※アルミ箔付防水テープは、下方から上方の順番①～④で張付けし、重ね合わせ部、部材との取合い部などは浮き・すき間無く張付けしてください。

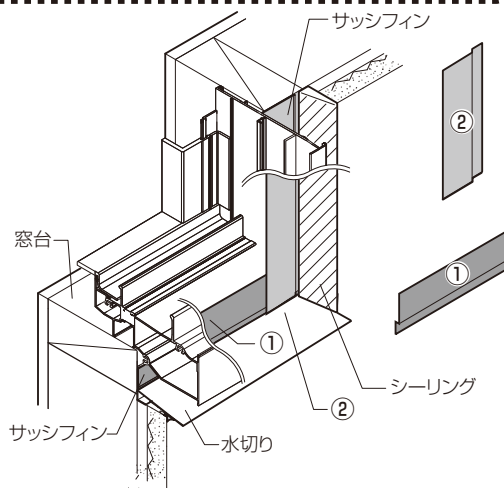
※モルタルの場合、上枠部はアルミ箔防水テープと木ずり部を三角シーリングしてください。その際、外壁裏の排水経路を確保するため、モルタルの切断面は塞がないでください。(下図防水処理箇所を参照)

※縦枠壁切断面をシーリング処理してください。



お願い

※サッシ下枠・水切り・サッシ縦枠部の防水処理は下図を参考に、躯体内へ水が流れないように防水処理してください。

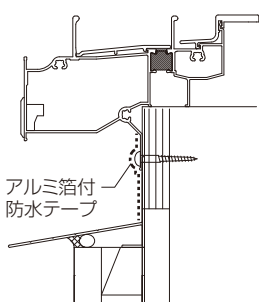


▲注意

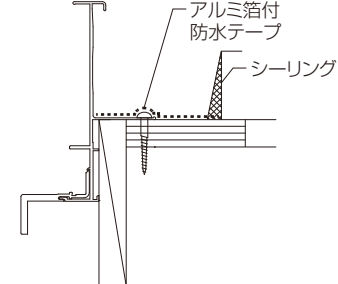
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・シーリング材を使用する場合には、1成分形変成シリコンタイプを使用してください。
- ・シーリング材指定のプライマーを使用してください。
- ・シーリング処理はアルミ箔付防水テープとつながるようにしてください。
- ・防水テープは必ずアルミ箔付防水テープ(有償品)を使用してください。

■防水処理箇所

【下枠部】

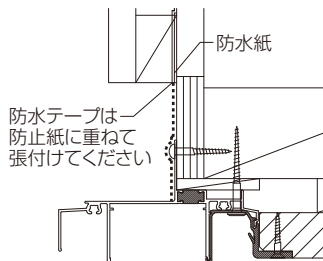


【縦枠部】



【上枠部】

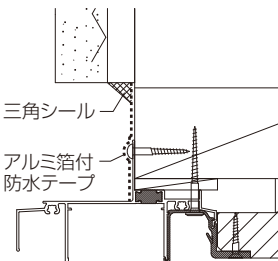
通気工法納まり



※防水紙が切れている場合は、シールして防水テープとつなげてください。

【上枠部】

モルタル納まり

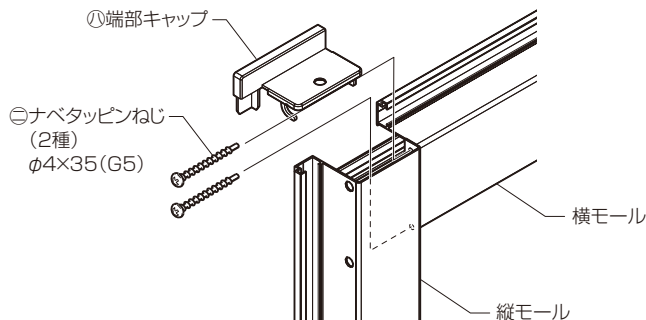


※モルタルの切断面は塞がないでください。

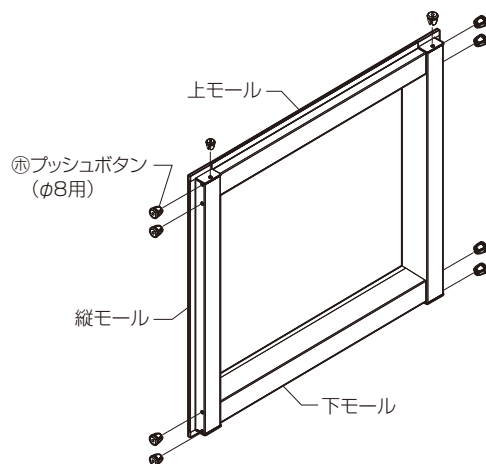
4 カットモールの取付け

1 カットモールの組立て

- ①縦モール端部に㊶端部キャップを取付けてください。
端部キャップと縦モールのガイド穴、横モールのタッピングホルダーの位置を合わせ、㊷モール組立てねじで組立てします。



- ②縦モールの側面の丸穴(8箇所)および、上側の端部キャップ上面の丸穴(2箇所)に㊸プッシュボタンを取付けてください。

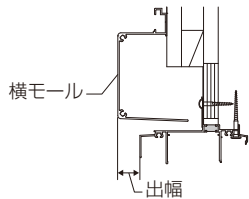


▲注意

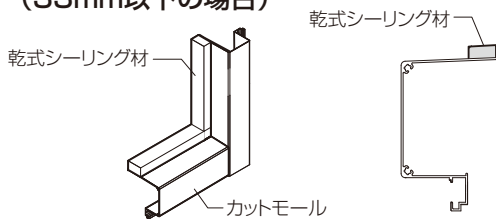
- 排水経路を確保するため、下部の端部キャップには、プッシュボタンを取付けしないでください。取付けた場合、排水できなくなるおそれがあります。

■乾式シーリング材(有償品)を使用する場合

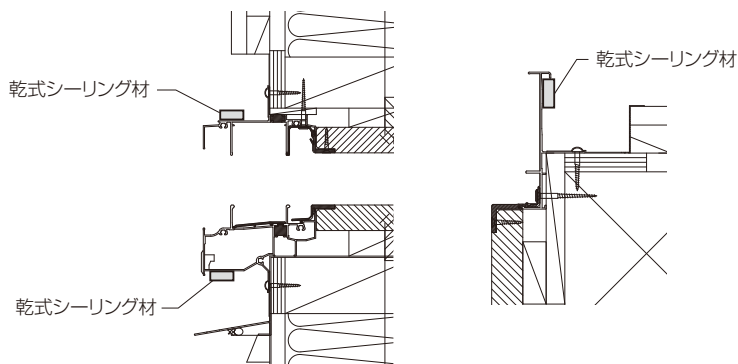
新設サッシからのカットモールの出幅が33mm以下の場合、カットモールに乾式シーリング材を張付けてください。(下図参照)
新設サッシからのカットモールの出幅が33mm超の場合、新設サッシに乾式シーリング材を張付けてください。(下図参照)



■乾式シーリング材の張付け位置 (33mm以下の場合)



■乾式シーリング材の張付け位置 (33mm超の場合)



2 カットモールの取付け

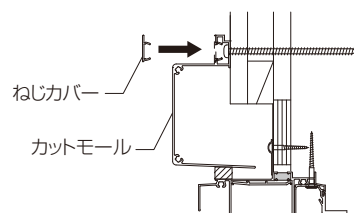
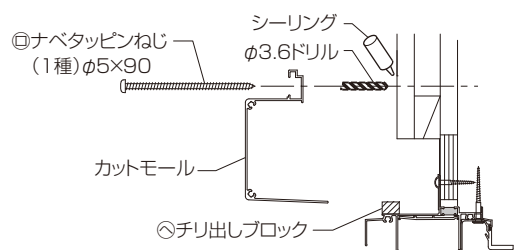
- ①新設サッシ上枠の両端と中央に㊹チリ出しブロックを設置してください。乾式シーリング材を使用する場合は、取付け不用です。
②新設サッシとカットモールの上下左右のチリ寸法を確認し、カットモールの取付け穴位置に合わせて、壁面にφ3.6の下穴をあけ、シール材を注入してください。㊺モール取付けねじで、カットモールを取付けしてください。

▲注意

- 必ず下穴へシール材を充てんしてから、ねじを取付けてください。漏水の原因になるおそれがあります。

3 ねじカバーの取付け

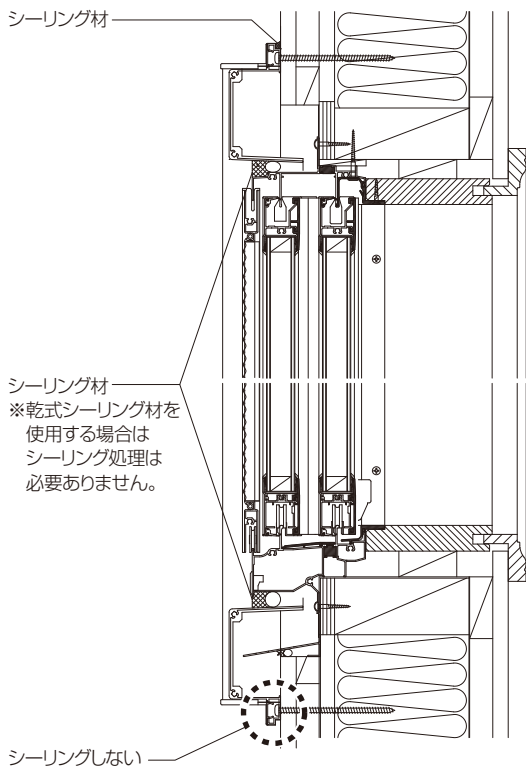
- カットモールに、ねじカバーをはめ込んでください。



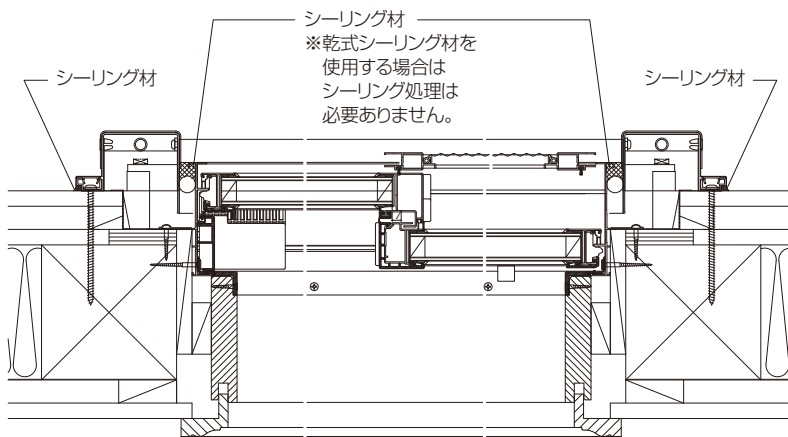
5 シーリング処理

●図の指定の箇所へシーリング処理をしてください。縦モールの下側および、下モールの下側はシーリング処理しないようにしてください。モール内に入った水が溜まる場合があります。

※縦モールと横モールとの取合い部にすき間がある場合は、シーリング処理してください。



※モール下側はシーリング処理をしないでください。

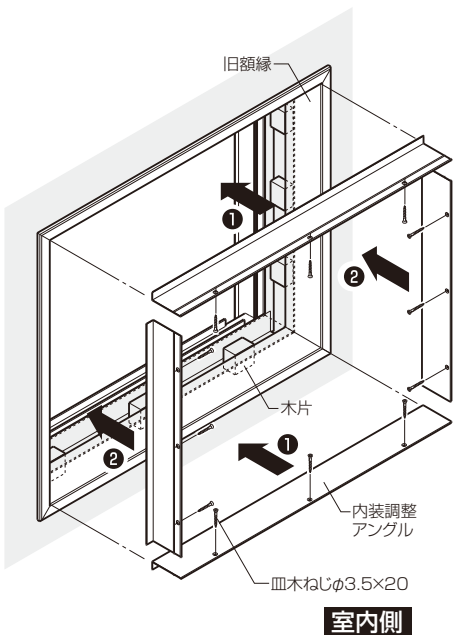


▲注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

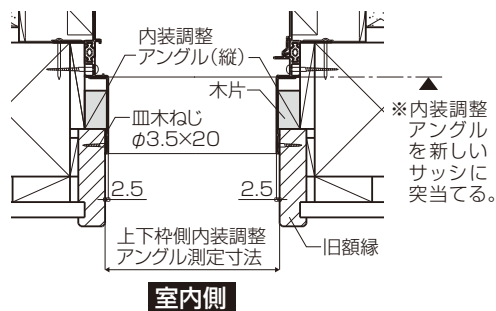
- ・シーリング材を使用する場合には、1成分形変成シリコンタイプを使用してください。
- ・シーリング材指定のプライマーを使用してください。

6 内装調整アングルの取付け

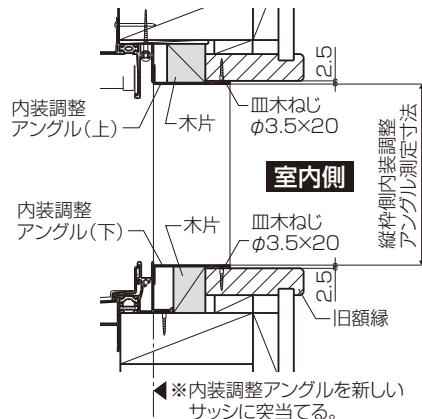


- ①旧額縁の内々寸法を測り、内装調整アングルを測定寸法に切断します。
※左右均等に切断してください。
- ②旧額縁と新しいサッシとのすき間に木片を入れて固定します。
- ③内装調整アングルを新しいサッシにすき間なく突当て、皿木ねじで旧額縁に固定します。

【横断面図】



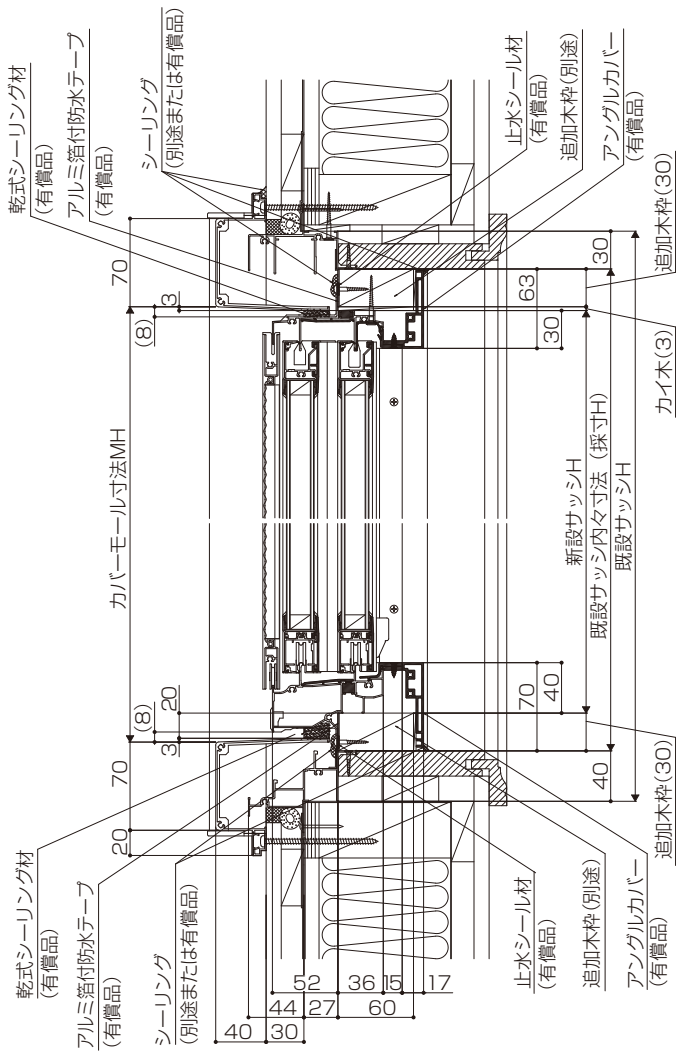
【縦断面図】



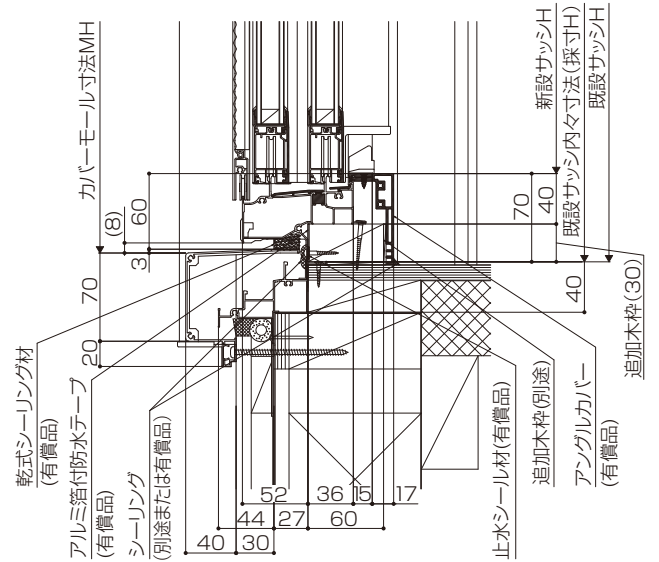
■参考納まり図

【汎用カバーモール】

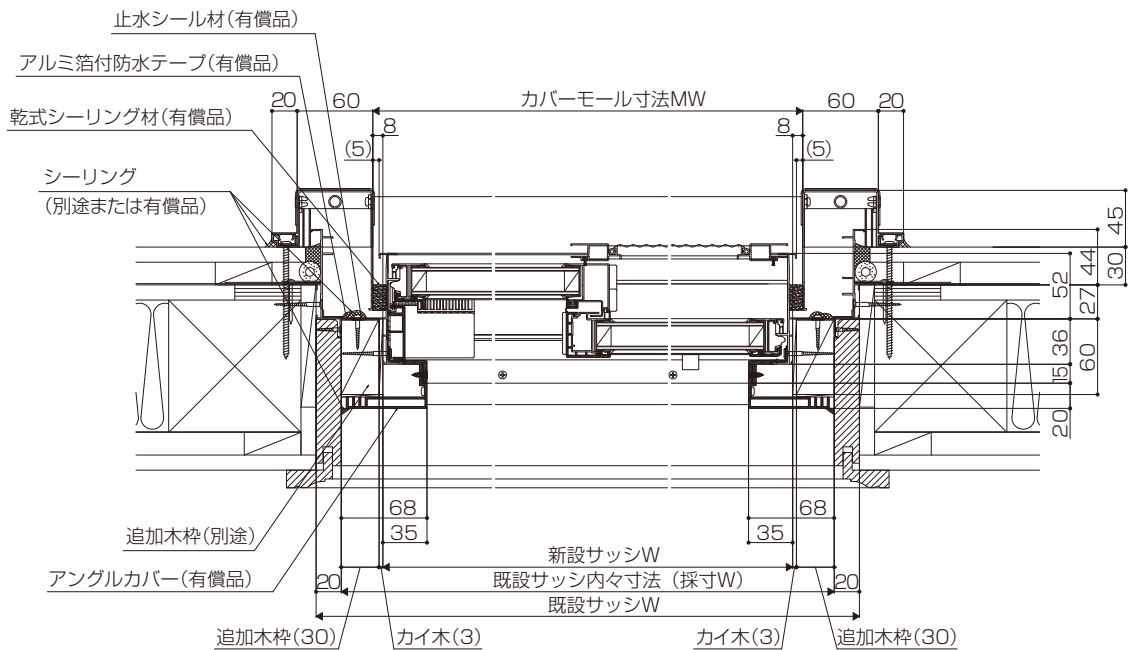
■縦断面図



■テラスタイプ下部



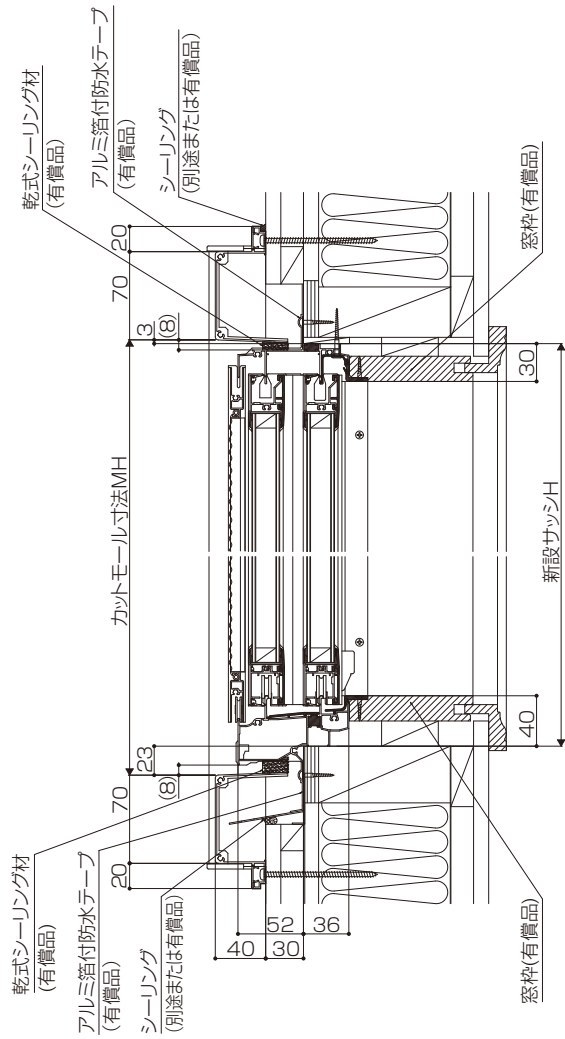
■横断面図



■参考納まり図

【汎用カットモール】

■縦断面図



■横断面図

